令和７年度　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　新宿区立津久戸小学校

学校経営方針の概要

目指す学校像　学ぶに向かう力、人間性を涵養する学校

人間性を育てる学校

＜学校経営の基本方針＞

１　学習指導（わかりやすい・楽しい授業、課題解決型学習の充実、基礎的・基本的内容の定着、専門性を生かした教科担

任制の導入）

　・自らの考えを伝えるための表現力、多様な考えを捉え、判断する力の育成を目指した共同学習の充実を図る。

　・振り返りを教科横断的に取り組み、自己評価ができる授業を進める。

　・音楽や図工等の授業を通した、情操教育の充実を図り、表現力を育成する。

　・地域、保護者の方々と連携し、学校図書館の環境を整え、読書活動の充実に努める。

　・ＩＣＴを積極的に活用し、プログラミング的思考を取り入れ、わかりやすい授業、児童相互が学び合う授業の工夫に取り組む。東京都教育委員会「デジタルを活用したこれからの学び」研究推進校として授業改善を図る。

　・児童の外国語によるコミュニケーション能力の素地を養う。

　・主体的・対話的で深い学びについて教科横断的に取り組む校内研究の推進。

２　生活指導・進路指導（豊かな心の育成）

　・学校全体で学習規律を統一し、落ち着いた学習態度の定着・維持を図る。校則の見直し。

　・道徳教育推進教師を中心として、学校の教育活動全体を通して、児童の内面に根差した道徳性を育成する。

　・あいさつ運動などを通して、登校時に元気にあいさつを交わす取り組みを中心に、すすんであいさつする態度を養う。

　・「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの根絶を図る。生活指導朝会、職員会議、生活指導全体会等の機会を活用

　　して、児童の課題等について情報を共有するとともにHyper・QUやふれあいアンケートを活用し、いじめの未然防止

　　を重視した学級づくりをすすめる。ＳＣとの連携による教育相談の充実。

　・児童一人一人のよさや可能性を見出し、それを発揮できるよう指導・助言することを通して、望ましい勤労観・職業観

　自己実現に向けた態度・能力を養う。

２　地域の教育力を生かし、地域とともに豊かな心を育む学校

○地域協働学校としての特色

○開校１２１年を迎え、地域の

　文化拠点となる教育を進める。

○地域の人材を活用して、各教科の実践の中で地域から学ぶ（商店街、神楽坂阿波踊り、熊谷組、東京理科大、ＪＣＨＯ）

○地域の防災の拠点として、首都直下型地震等に対応できる備えを積極的に進める。

＜本校の教育目標＞

**知性と教養にあふれ**

**たくましく前向きに生きる　津久戸の子**

○児童の実態

＜社会の要請等＞

○特別支援教育の推進

○地域協働学校としての取組み

＜法令等＞

○教育基本法

○学習指導要領

○新宿区教育委員会

教育目標

○新宿区教育ビジョン

３　教職員が「学習指導の専門家」としての力量を発揮し個と集団をともに高める学校

○それぞれの能力を生かし、常に

　学び続ける教員集団

〇「楽しい授業」をデザインし、主体的に学ぶ児童の育成

○主幹教諭・主任教諭を中心としたＯＪＴの推進、ミドルリーダー、若手教員の育成

○幼・保・小、小・中の連携、幼保小の架け橋プログラムの推進

１　主体的・対話的で深い学び

〇「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させながら「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を図る。

○児童が学ぶことに興味や関心を持ち、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる。

〇中学年・高学年を中心とした教科担任制の導入による、チーム体制での指導の充実を図る。